

**FIH OLYMPIC  
QUALIFIER**  
KAKAMIGAHARA 2012



オリンピック予選 【 男子 】

開催日時 5 月 6 日 ( 日 ) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 曇り時々雨

【全試合結果】

第1試合 5位・6位決定戦 10:00	チェコ (世界ランク23位)	5	$\begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 2 - 1 \end{pmatrix}$	1	ブラジル (世界ランク42位)
第2試合 3位・4位決定戦 12:00	中国 (世界ランク17位)	5	$\begin{pmatrix} 3 - 1 \\ 2 - 2 \end{pmatrix}$	3	オーストリア (世界ランク21位)
第3試合 決勝戦 15:00	日本 (世界ランク15位)	1	$\begin{pmatrix} 0 - 0 \\ 1 - 2 \end{pmatrix}$	2	南アフリカ (世界ランク12位)

【各試合の結果・詳細】

第1試合 5位・6位決定戦

チェコ 5  $\begin{pmatrix} 3 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$  1 ブラジル

<得点>

チェコ : 4分 9分 #5PROCHAZKA、28分 56分 #7BERNATEK、66分 #17SEEMANN

ブラジル : 36分 #6PACHECO

<戦評>

チェコのセンターパスにより前半戦が開始された。開始4分チェコはPCを獲得。#5PROCHAZKAのフリックシュートは左下に決まり先制点を挙げる。さらに9分にもチェコはPCを獲得。再び#5PROCHAZKAのフリックシュートが右下に決まり追加点を挙げる。一方、ブラジルは速攻から得点を狙うがシュートを放つことが出来ない。18分、21分とチェコは立て続けにPCを獲得するも、GK#1TATARAの好セーブにより得点を挙げる事が出来ない。チェコは28分サークル付近からゴール前にヒットで打ち込みGKがクリアするが#7BERNATEKが拾いプッシュシュートを決め、点差を広げる。前半はチェコが3点リードで折り返す。後半が開始され36分、ブラジルは短くパスを繋ぎ攻撃を仕掛ける。サークル内に持ち込みシュートを放つがGKにとめられる。こぼれ球を#6PACHECOが拾いリバースヒットを決め1点を返す。対するチェコは45分、46分と続けてPCを獲得。GKの好セーブによりチャンスを活かすことが出来ない。その後、激しくボールを奪い合う攻防が続く。ペースを取り戻したいチェコは56分、#8VUDMASKAがスウィープヒットでサークル内にパス。パスを受けた#7BERNATEKが押し込み得点を挙げる。更にチェコは66分、ロングコーナーからサークル内に攻め込みゴール前でパスを受けた#17SEEMANNが押し込み追加点を挙げリードを広げる。得点の欲しいブラジルは速攻から攻撃を仕掛けるがチャンスを作ることができず5-1で試合は終了。チェコが勝利し、5位チェコ、6位ブラジルとなった。

テクニカルオフィサー	MARSH Gary	アンパイア	KIM Hong Lae
ジャッジ	UEDA Koichi	ビデオアンパイア	KEARNS Adam
	STEWART Antony		TAYLOR Simon

第2試合 3位・4位決定戦

中国 5  $\begin{pmatrix} 3 & - & 1 \\ 2 & - & 2 \end{pmatrix}$  3 オーストリア

<得点>

中国 : 9分 #15LIU、15分 42分 #9SONG、31分 61分 NA

オーストリア : 19分 53分 #8SCHMIDT、45分 #4STREMITZER

<戦評>

中国のセンターパスにより試合が開始された。試合が動いたのは9分、#21SUNがサークル付近からスウィープでサークルに打ち込み、それを#15LIUがタッチシュートで決め先制点する。さらに15分、中国#9SONGがサークル内でDFからボールを奪い素早くヒットシュートを打ち、左下に決まり追加点を挙げる。一方、オーストリアは18分にPCを獲得。フリックシュートでゴールを狙うも、中国GK#25SUの堅守で得点できない。19分、サークル内の混戦の中オーストリアはシュートを打つがまたも中国GK#25SUに止められる。しかしリバウンドに素早く反応した#8SCHMIDTがヒットシュートを打ち、これが決まって1点を返す。中国は30分、31分と立て続けにPCを獲得。#32HUが#20NAに合わせ、タッチシュートが左上に決まり点差を広げる。3-1で中国リードのまま前半を折り返す。後半戦に入り42分、中国はサークル内にボールを入れるがDFに止められる。はじいたボールに#9SONGがつめ、走りながらリバースヒットを打ち右下に決まり得点を挙げる。45分オーストリアはPCを獲得。ボールがずれるが#4STREMITZERがプッシュシュートを決め2点目を挙げる。53分オーストリア#13STANZLがドリブルでサークルに入り左からパスを出す。#12JELIHEKがダイレクトで中にパスを出し、#8SCHMIDTが浮き球をダイレクトシュートで決め3点を挙げ1点差まで詰め寄る。一方中国は55分、56分と立て続けにPCを獲得する。フリックシュートでゴールを狙うがオーストリアGK#30MÄNTLERが好セーブを見せる。その後も中国は多彩な攻撃でゴールを狙うもオーストリアGK#30MÄNTLERがファインセーブを見せ中国に追加点を許さない。61分、中国はサークル内からリバースヒットを打ち#20NAが合わせて得点をする。試合はそのまま終了。5-3で中国が勝利し、3位中国、4位オーストリアとなった。

テクニカルオフィサー	STEWART Antony	アンパイア	PRASAD Raghu
ジャッジ	MARSH Gary	ビデオアンパイア	MADDEN Martin
	UEDA Koichi		GREENFIELD Gareth

第3試合 決勝戦

日本 1  $\begin{pmatrix} 0 & - 0 \\ 1 & - 2 \end{pmatrix}$  2 南アフリカ

<得点>

日本 : 64分 #11北里  
南アフリカ : 44分 #18McDADE、54分 #10NORRIS-JONES

<戦評>

日本のセンターパスにより前半戦が開始された。両チーム共、気迫溢れるプレーを見せ激しいボールの奪い合いとなる。4分、南アフリカの自陣右サイドから、左サイドへ展開。サークルトップにいた#8HARPERが受けると、日本のDFをかわしサークルイン。シュートを放つもGK#7長岡に阻まれる。一方日本は、11分サークル付近からの打ち込んだボールを#21塩川がサークル内で受け、相手の反則を誘いPCを獲得。#14長澤がフリックシュートを放つもGK#23PIETERSEに阻まれ得点を挙げることができない。日本は、その後もロングスクープから攻撃を仕掛けチャンスを作るが、南アフリカの堅い守りに阻まれシュートを放つことが出来ない。得点の欲しい南アフリカは、巧みなパスワークから日本陣内に攻め込み30分、31分とPCを獲得。#25REID-ROSSが強烈なフリックシュートを放つもGKに阻まれる。そのまま0-0で前半を折り返す。

後半も激しい争いが続く。最初にチャンスを作ったのは南アフリカ。44分、細かいパス回しから日本陣内に攻め込むとサークル付近でボールを受けた#18McDADEが、ドリブルで切り込みGKをかわし待望の先制点を挙げる。さらに54分南アフリカは、ロングコーナーから攻撃を仕掛け#10NORRIS-JONESがサークルトップからリバースヒットを決め追加点を挙げる。一方、日本は60分から3連続でPCを獲得。しかし南アフリカDF陣に阻まれる。その後も日本は、再三チャンスを作るも決定力を欠き得点を挙げることが出来ない。一点を返したい日本は64分、右サイドから#8小澤がパスを受け、#11北里にパス。角度のないところからスイープシュートを決め1点差とする。同点に追いつきたい日本はGKとFPが交代し、パワープレーにでる。そこから日本の猛撃が続き、右ロングコーナーからサークル内にいた#5川上がダイレクトシュートを放つもGK#23PIETERSEに阻まれる。1-2で南アフリカが勝利し、1位南アフリカ、2位日本となった。この大会で南アフリカはロンドンオリンピック出場権を手にした。

テクニカルオフィサー	MARSH Gary	アンパイア	GENTLES David
ジャッジ	STEWART Antony		CURRAN Ged
	UEDA Koichi	ビデオアンパイア	GROCHAL Marcin

【最終順位】

1位	南アフリカ	4位	オーストリア
2位	日本	5位	チェコ
3位	中国	6位	ブラジル

【個人賞】

フェアプレー賞	ブラジル	ベストGK	#7 長岡 俊輔 ( 日本 )
得点王	#25 REID-ROSS Justin (南アフリカ)	MVP	#20 NA Yubo ( 中国 )